

令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションでの林外務大臣挨拶

御列席の皆さま、本日は天皇誕生日祝賀レセプションに御出席いただき、ありがとうございます。本年は感染対策に万全を期した上で、4年ぶりに駐日外交団の皆様や賓客を御招待して開催することとなりました。皆さまと一堂に会してこの佳き祝賀の機会を共有できることを大変嬉しく思います。

明日(23日)、天皇陛下におかれては、63歳の御誕生日をお迎えになります。長い間、新型コロナの影響で人と人との直接的な接触が制限されていましたが、昨年からは、感染対策を徹底しつつ、皇后陛下と御一緒に国内の諸行事にお出ましになり、国民との交流を重ねられています。

加えて、昨年9月には皇后陛下と共に英国に御訪問されたほか、16か国・機関の要人に御面会いただくなど、国際親善にも積極的に御精励されておられ、誠に喜ばしく存じます。ここに、皆さまと共に天皇陛下の御誕生日を心からお祝い申し上げたいと思います。

今、世界は、歴史の転換期にあります。ポスト冷戦時代の平和と繁栄を支えた法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序は、パワーバランスの歴史的変化と地政学的競争の激化に伴い、重大な挑戦にさらされています。

こうした中で、本年、日本はG7議長国及び安保理非常任理事国を務めています。先月、私はニューヨークの国連本部を訪問し、安保理において閣僚級公開討論を主催しました。その場では、「法の支配のための結集」を訴え、多くの国から賛同をいただくことができました。先週末はドイツに出張し、G7外相会合を開催するとともにミュンヘン安全保障会議に出席しました。今夜からは、米国ニューヨークに出張し、ロシアのウクライナ侵略から1年の節目に開かれる国連総会の緊急特別会合と安保理の閣僚級討論に参加する予定です。このように、世界各国と緊密に連携しながら、国際社会における法の支配、自由で開かれたインド太平洋を更に推進し、日本と世界の平和と繁栄を実現していく所存です。

わが国は、引き続き、普遍的価値を守り抜く覚悟、日本の平和と安全を守り抜く覚悟、そして、地球規模の課題に向き合い国際社会を主導する覚悟、これら三つの覚悟を持って、対応力の高い、「低重心の姿勢」で外交を展開していきます。

ここで、私と共に日本の外交を担っている副大臣及び大臣政務官を御紹介します。山田賢司副大臣、秋本真利大臣政務官、高木啓大臣政務官、吉川ゆうみ大臣政務官です。なお、武井俊輔副大臣は現在海外出張中です。

本日は、東北や熊本などの被災地から取り寄せた食材を使った魅力あふれるお食事と共に、私の地元の山口県の日本酒や^{あわ}酒協会様から提供された20銘柄の泡酒など、個性豊かな日本酒も多数とり揃えました。ぜひ、ご賞味ください。

それでは、皆さまと共に、天皇陛下の一層の御健勝と皇室の御繁栄、そして、御列席の皆さまの御健勝を祈って、ここに杯^{はい}を挙げたいと思います。こういった御時世ですので、皆さまは声は出さずに心の中で御唱和願います。乾杯。